

けやきっ子



四日市市立羽津北小学校 令和8年2月13日号

学校 HP は
こちら



☆オープンスクールに来校いただきありがとうございました

1月29日(木)は3学期のオープンスクールと大なわ記録会でした。記録会は、体育館工事のため、例年とちがい運動場で実施しました。当日はたいへん寒い日でしたが、多くの方に参観していただきました。また、教科の授業の様子はもちろんですが、低学年の食育、「わたしの10年のあゆみ発表(4年総合的な学習の時間)」、「お金の使い方・ゲーム課金について(5年総合的な学習の時間)」、「『AIはわたしたちに影響をあたえるの?』(6年道徳)」などの授業も参観していただきました。授業についてご家庭で話題になり、話し合うきっかけになったとの声もきかせていただきました。午後は、学校保健委員会で「自分の生活習慣を見直し、これからの生活にいかそう」をテーマに、5・6年生の保健委員の子どもたちが調べたことを4・5・6年の各クラスで発表しました。



☆【6年生】竹あかり制作、そしてまちづくりについての学び

1月15日(木)に6年生が竹あかりの制作を行いました。まちづくり協議会の方々が額突山から切ってきた竹を準備していただきました。6年生は地域の方々や参加のおうちの方にサポートされながら、一つ一つ



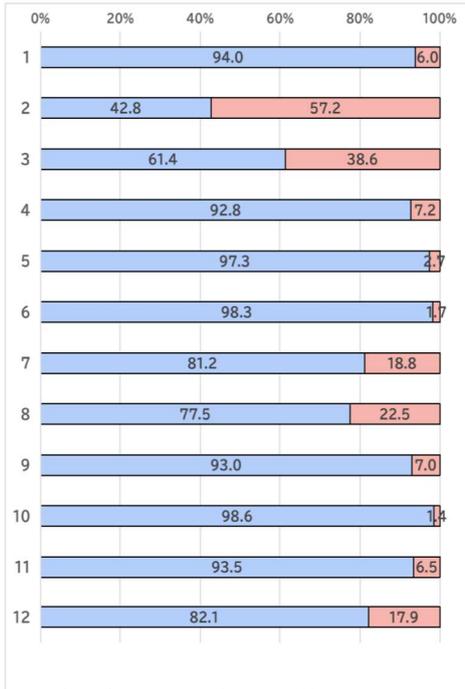
丁寧(ていねい)に作業(さぎょう)していました。これらは卒業式会場(かいじょう)に飾(かざ)られたのち、3月21日(土)に開催(かいさい)される「額突山(ぬかづきやま)市民緑地まつり」で、地域の皆様(みなさま)の竹あかりとともに山の斜面(さながら)に展示(てんじ)され、夜(よる)にはライトアップ(げんそうてき)されます。幻想的(げんそうてき)でありながら、あたたかい光(ひかり)をはなつて輝(かがや)くことでしょう。



1月30日(金)には、羽津地区連合自治会内田会長(はづちくれんごうちちかいうちだかいちょう)をゲストティーチャーとしてお招き(まね)し「わたしが考えるこれからの羽津のまちづくり」と題(だい)しお話(わなし)いただきました。羽津のまちが安全(あんぜん)で快適(かいてき)であるため生活環境(せいかつかんきょう)を整備(せいび)していること、多く(おおく)の人(ひと)たちによってまちづくりが支え(ささ)えられていること、様々な行事(さまざまぎょうじ)を通して人々(ひとびと)のつながりをつくりたいと考(かんが)えていることなどを知(し)りました。最後(さいご)に、まちづくりについての感想(かんそう)や意見(いけん)を尋ね(たず)ねられると、何人(なんにん)もの6年生(ねんせい)がすすんで発表(はっぴょう)していました。



れい わ ねん ど が っ こ う ひ ゃ う か け っ か
 令和7年度学校評価アンケートの結果について

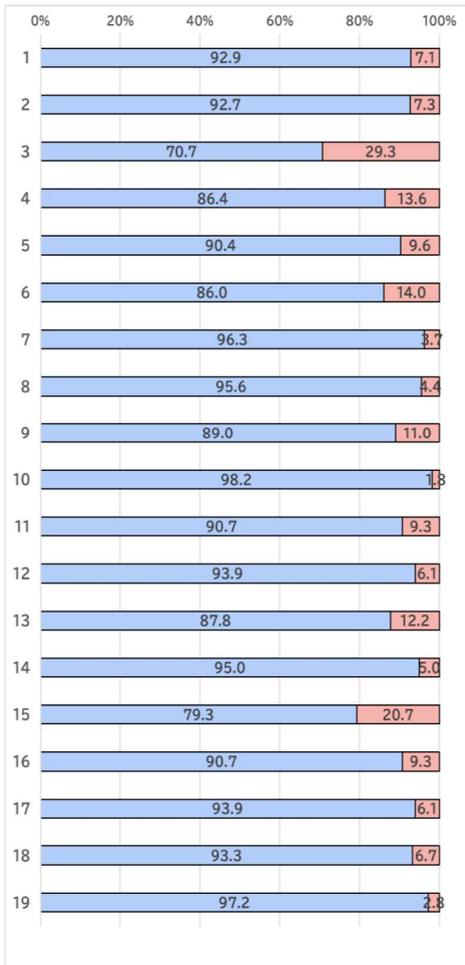


青：肯定的・赤：改善が必要

（保護者用）教育活動に関するアンケート

1. お子様は、楽しく学校に通っている。
2. お子様は、家庭で本を読んでいる。
3. お子様は、家庭学習(宿題・自主学習)を忘れずにしている。
4. 教職員は、お子様の思いを理解しようとしている。
5. お子様は、友達や自分を大切にしている。
6. お子様は、学校のきまりを守って、学校生活を送っている。
7. お子様は、運動や、体を使った遊びに興味関心がある。
8. お子様は、早寝早起きをしている。
9. お子様は、朝ごはんをきちんととっている。
10. お子様は、自分や友達の安全に気を付けて学校生活を送っている。
11. 各種のたよりやホームページによって、学校についての情報提供が充実している。
12. 身近なことや地域にかかわる内容を学ぶ授業の話題が出ることもある。

（児童用）教育活動に関するアンケート



1. 学校はたのしい。
2. 授業では、よく聞き、考え、伝え合っている。
3. 本を読むことが好きだ。
4. 家庭学習(宿題・自主学習)をしている。
5. 先生が複数で行う授業や、少人数授業はわかりやすい。
6. タブレットを使って自分の考えをまとめたり、わからないことを調べたりしている。
7. 先生たちは、自分の話をよく聞いてくれる。
8. 命・人としての生き方・なかま・障がいなどについて学年や学級の友だちと考え合っている。
9. 自分にはよいところがあると思う。
10. いじめや差別はぜったいにいけないと思う。
11. 自分の将来の夢や目標がある。
12. 「はづきたのやくそく」や「けやきっ子三か条」をまもっている。
13. からだを動かすこと(運動)が好きだ。
14. 体育の授業や運動(休み時間・放課後など)をがんばることは、体力をつけることにつながっていると思う。
15. 早ね早おきをしている。
16. 朝ごはんをきちんと食べている
17. 安全に気を付けて、過ごしている。
18. 総合的な学習の時間や社会の時間に、地いきのことや身近な人のことを学ぶ授業は楽しい。
19. 様々な行事(運動会・遠足など)は楽しい。

2学期末「学校評価アンケート」に協力いただきましてありがとうございました。回答を「A:そう思う、B:どちらかといえばそう思う」を「肯定的」、「C:どちらかといえばそう思わない、D:そう思わない」を「改善が必要」ととらえ、児童のアンケート結果と分析し、学校ビジョンの重点ごとに、以下の通りまとめました。なお、自由記述欄では様々なご意見をいただきました。いただいたご意見についても検討して今後の学校運営にいかしてまいります。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

☆重点1「確かな学力の定着」

○「2.よく聞き、考え伝え合っている(92.7%)」、「5.先生が複数で行う授業や、少人数授業はわかりやすい(90.4%)」子どもたちに、学習において、自分なりに考え伝えようとする意識が育ってきていると考えます。課題などを考える際、必要な情報の処理方法(比べる・見通す・理由づけるなど)を様々な授業で学習し、問題解決の場面で活用できる姿をめざし、教職員は研修も進めていきます。

○「4.家庭学習(宿題・自主学習)をしている(86.4%)」、保護者の方は「3.進んで家庭学習(宿題・自主学習)をしている(61.4%)」でした。自ら学ぶ力の向上のため、高学年を中心に、長期休業の際、自分で学習計画をたて実行するよう取り組んでいます。自己調整的に学ぶ力を身につけていけるよう指導・支援を進めています。

☆重点2「こころとからだの健全な育成」

○「8.命や生き方などについて考え合っている(95.6%)」「9.自分にはよいところがあると思う(89%)」「10.いじめや差別は絶対いけないと思う(98.2%)」「保護者の方の「5.友だちや自分を大切にしている(97.3%)」から、周りから大切にされることで子どもたちの自己肯定感が育ってきていることがわかります。いじめや差別を許さない心や自分を「ありのままでもいい」ととらえられるように、対話的に問題解決を図る指導を継続していきます。また今回肯定的回答をしなかった子どもたちにもよりそい、心の中にあるものを丁寧にみていきます。



○児童の「15.早ね・早おき(79.3%)」、「16.朝ごはんを食べる(90.7%)」が昨年度よりポイントが上がりました。学年に応じた保健・食育指導を学期ごとに継続し、今年度はPTA教育講演会で学校給食をテーマに、教職員と保護者の懇談も行いました。ご家庭での働きかけのおかげで、意識が育ってきていると考えます。

○読書にかかわるポイントが下がってきています。朝の読書、地域ボランティアによる読み聞かせ、リブネット(図書館しよ)によるブックトークなど、読書の楽しさを実感できるよう取り組んでいます。文化庁の2023年度「国語に関する世論調査」(読書については5年に1度の調査)の結果では「1か月に読む本の冊数」は、電子書籍も含めて「読まない」が過去最多の63%に上り「スマホのアプリやSNSなどサービスの多様化」が背景にあると分析しています。今年度、本校児童の7割は「本を読むことが好き」と回答していますが、今後も取り組みの継続と工夫をしていきます。

☆重点3「未来を創造する力の育成」

○「18. 地域のことや身近な人のことを学ぶ授業は楽しい(93.3%)」保護者の方から「12. 地域のことを学ぶ授業の話題がでることがある(82.1%)」地域の方々などをゲストティーチャーとして招き、学校だけでは行えない教育活動を実施しています。コミュニティスクール(CS)「けやき委員会」の協議をもとに、地域の教育力を生かした学びを充実させていきます。



○「19. 運動会などの行事は楽しい(97.2%)」「11. 将来の夢や目標がある(90.7%)」キャリア発達の視点からも、自分のめあてをもって行事等に取り組み、その後、自分自身でふりかえることで、満足感・達成感を感じ、次の活動への意欲や目標につながります。子ども自身が自分の取り組みを客観的にとらえ、高められるよう指導・支援していきます。

○「12. 『はづきたのやくそく』などをまもってすごしている(93.9%)」「17. 安全に気を付けて過ごしている(93.9%)」保護者の方から「6. 学校のきまりを守ってすごしている(98.3%)」安全意識や自己指導能力の向上について9割以上の児童が肯定的にこたえています。通学路で、横断するのをまってくれた車にきちんとおじぎをする児童の話をきかせていただくことも1度や2度ではありません。一方、「下校時に道に広がって歩いていて危ない」、「こちらからあいさつしても返してくれる子がとても少ない」などの声もいただいております。今後も継続して指導していくとともに、子どもたち一人ひとりの意識を育てていきます。

☆重点4「学びを支える・安全・安心な学校づくり」

○「7. 先生たちは自分の話をよく聞いてくれる(96.3%)」と昨年よりポイントがあがったのは嬉しいことです。保護者の方から「4. 教職員は子どもの思いを理解しようとしている(92.8%)」と評価されました。子どもたちのかかえる不安感、様子の変化などに対応できるよう、毎朝の心の天気、学期ごとのQU調査・教育相談などを活用しています。また、学年を中心としたチームで子どもを指導・支援を行っており、4・5・6年生に教科担任制や算数の習熟度別(コース別)授業を導入しています。担任一人だけではなく、複数の教職員でかかわるようにしています。子どもたちの気になる様子やトラブル等の際は、保護者・地域・スクールカウンセラー(SC)等と連携し、解決を図っています。学校と家庭と地域がチームとなって進めたいと考えています。



○保護者の方に「11. たよりや学校HP等の情報発信の充実(96.3%)」について評価いただきました。教育DXの推進で、校務の効率化を進めています。H&Sやクラスルームでの連絡、便りの配信・各種アンケートなど、さらに利便性の向上を図るとともに、今後も各種の通信やホームページ更新などをさらに充実させ、学校生活の様子をより身近に感じていただけるよう努めてまいります。